

情報通信審議会 情報通信技術分科会（第179回）議事概要

1 日時 令和6年4月9日（火）14:00～15:05

2 場所 Web会議による開催

3 出席者

（1）委員（敬称略）

尾家 祐二（分科会長）、森川 博之（分科会長代理）、伊丹 誠、
井上 由里子、江崎 浩、上條 由紀子、國領 二郎、三瓶 政一、
高田 潤一、高橋 利枝、長谷山 美紀、増田 悦子
（以上12名）

（2）専門委員（敬称略）

小瀬木 滋、平田 晃正（以上2名）

（3）総務省

<国際戦略局>

田原 康生（国際戦略局）、豊嶋 基暢（官房審議官）

<総合通信基盤局>

今川 拓郎（総合通信基盤局長）、荻原 直彦（電波部長）、
中村 裕治（電波政策課長）、廣瀬 照隆（基幹・衛星移動通信課長）、
内藤 新一（電波環境課長）、道方 孝志（電波環境課企画官）

（4）事務局

片山 寅真（情報流通行政局情報通信政策課総合通信管理室長）

4 議 題

(1) 答申案件

- ①「電波防護指針の在り方」のうち「吸収電力密度の指針値の導入等」について

【平成 25 年 12 月 13 日付け諮問第 2035 号】

【内容】

本件は、国際的なガイドラインで 6 GHz を超える周波数について吸収電力密度の指針値が定められたことを踏まえ、電波防護指針における吸収電力密度の指針値の導入等について審議を行ったもの。

審議の結果、電波利用環境委員会から報告があったとおり、答申（案）を了承し、答申とすることとした。

- ②「携帯電話端末等の電力密度による評価方法」のうち「6GHz～10GHz における吸収電力密度の測定方法等」について

【平成 30 年 4 月 25 日付け諮問第 2042 号】

【内容】

本件は、国際的なガイドラインで 6 GHz を超える周波数について吸収電力密度の指針値が定められたことを踏まえ、6GHz～10GHz における吸収電力密度の測定方法等について審議を行ったもの。

審議の結果、電波利用環境委員会から報告があったとおり、答申（案）を了承し、答申とすることとした。

- ③「航空無線通信の技術的諸問題について」のうち「90GHz 帯滑走路面異物検知レーダーに関する技術的条件」について

【昭和 60 年 4 月 23 日付け電気通信技術審議会諮問第 10 号】

【内容】

本件は、空港滑走路における FOD (Foreign Object Debris : 異物) の除去の重要性が認識されている現状から、効率的に FOD を除去するために、90GHz 帯滑走路面異物検知レーダーに関する技術的条件について審議を行ったもの。

審議の結果、航空・海上無線通信委員会から報告があったとおり、答申（案）を了承し、答申とすることとした。

本会議にて配付された資料を御覧になりたい方は、総務省HPにおいて公開しておりますので御覧下さい。

また、総務省において、閲覧に供し及び貸し出しておりますので、以下まで御連絡をお願いいたします。

担 当：総務省 情報通信審議会事務局 山下補佐、岡本補佐、益田官

電 話：03-5253-5432

メール johotsushin-shingikai/●/soumu.go.jp

迷惑メール防止対策のため、送信時は/●/を@に置き換えてください。